

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 134号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 F
 TEL 045-228-7331 FAX 045 - 228 - 7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2014年1月号

【 今月のコンテンツ 】

- 新年のご挨拶 イグレン広報：宗和
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告(その18) 2
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 ・ご案内 2, 3, 4, 5
- ふくおか会計事務所【 連載10 】公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹氏・6
- 葉の美彩(くすりのみどり)【 連載5 】代表 小磯 清子 氏 7
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 8



謹 賀 新 年

イグレン広報：宗和

新春お喜び申し上げます。昨年は東京オリンピック開催という報道を受け、景気が上向くのではなかろうかという期待感に胸をときめかせた方もおいでだったのではないのでしょうか。景気拡大は中小企業や私達の生活にとっても喜ばしい事。是非、このまま上向いて頂ければと思う次第です。

私達、神奈川県異業種連携協議会は昭和 59(1984)年に誕生し今年で 30 年目。多くの企業の皆様の架け橋として活動を続けてまいりました。今年はその節目としてこの秋に記念式典を行う予定です。詳細に関しましては後日あらためてご案内致します。

10 年ひと昔と言いますが、30 年前の昭和 59 年を振り返ってみますと当時話題となったのがグリコ・森永事件での「怪人 21 面相」やブームとなったエリマキトカゲ。この年、衛星放送も開始され、経済面では通貨の肖像も一万円札・福沢諭吉、五千円札・新渡戸稲造、千円札・夏目漱石という顔ぶれで新札が発行されました。

神奈川イグレンもこの 30 年の間に色々な事やってきた歴史があります。今後も皆様方と共に活動を続けてまいりますので今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

かながわイグレン沿革 <http://www.kanagawa-iguren.com/history/history.html>

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告(その18)

神奈川イグレン事務局 松井利夫

第30回フォーラムは平成25年11月26日に開催。最初に栗山氏から「環境未来都市・横浜」について説明があった。それによると、横浜市は平成23年12月に、環境問題や超高齢化への対応など、様々な社会的課題を解決する成功事例の創出・普及展開を目指す「環境未来都市」に国から選定されて、5年間に何兆円かの資金を貰って「みなとみらい2050プロジェクト」、「持続的な住宅地モデルプロジェクト」、「スマートな住まい・住まい方プロジェクト」が動いている。横浜住宅供給公社賃貸住宅内に電力の見える化及び災害時給水システムの導入も具体的な活動の一つであると説明。今年で終わりになる横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)は、日本型スマートグリッドの構築や海外展開を実現するための取り組みとして、平成22年4月経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定されたプロジェクトであると、説明があった。

次に、九州大学発の「レンズ風車」の紹介があった。九州大学では、新型高出力レンズ風車を含む新エネルギー開発に取り組んでいる。この取り組みは、広大な日本の水域を利用した浮体式複合発電ファームの実現を視野に入れていて、博多湾に設置した長径18メートルの六角形浮体はめっちゃめっちゃ費用が掛かっているとのこと。次は、「日本のエネルギー需給と再生可能エネルギーを巡る動向」の資料について説明があった。それによると、2012年度の電力消費量は9000億kw/hになっていて、日本全体で1兆kw/hあれば足りるなどの説明があった。メンバーからは、自然エネルギーについては、今、地熱に関心が集まっている。潜在的には相当のパワーがある。また、風力には疑問がある。潮力の利用の方が上であるとか、風力で発電を任せられるとは思えないなどの意見があった。

次は、早川氏から先月に続いて「特許権と著作権」について説明があった。今回は著作物にはどのようなものがあるかを説明。資料でご覧のように、言語の著作物(論文、レポート、小説等)、音楽の著作権、地図、図形の著作物(図表、設計図、立体模型等)、プログラムの著作物等多岐にわたっている。特許権は登録が必要ですが、著作権は不要です。著作物は創られた時点で「自動的に」権利を付与するのが国際的なルールになっていると説明。なお、皆さんの要望があれば、更に著作権に詳しい専門家にこの席で詳しい説明をしていただくことが可能ですが、宜しいでしょうか、との発言があった。これに対して、全員賛成ですのでお願いすることが決定された。

次は、八幡氏から、「私ところに、BCCN代表の小林巡氏から、様々な情報がメールで送られてくる。今回送られてきた資料には、[熱利用冷房機の開発パートナーを求む]など、この会に関係のありそうな内容も含まれていた。」とのことで、資料が配られた。

その他、協立電機工業(株)の有賀氏から補助金についての相談があった。それに対して、事務局から、「今までは、設備投資に必要な補助金は皆無であったが、平成24年度補正予算で、初めて設備投資資金まで補助する交付金額が1000万円(補助率2/3)の補助金が誕生した。平成25年度補正予算での公募はまだであるが、挑戦する価値がある補助金である。」と説明があった。

【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】

<テクニカルショウヨコハマ2014のご案内>

- 【開催期間】 平成26年2月5日(水)～7日(金) 10:00～17:00
 【場 所】 横浜市西区みなとみらい1-1-1パシフィコ横浜展示ホールC.D
 【 問合せ 】 公益財団法人産業振興センター 総務・企画部 事業課
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階
 TEL: 045-633-5170 FAX : 045-633-2556
 E-mail: info@tech-yokohama.jp

イグレン会員の皆様へ : 「テクニカルショウでイグレンブースのカタログスタンドに企業PR用資料を掲示いたしますので、ご希望の方はカタログ等、20部ほど提出いただきたいと思います」
 期間中、イグレン・C&Sグループのブースはi-29、まんてんはi-30で展示しています。

【C&Sグループ】

C&S会長 松井利夫

イグレン主催、C&S後援の「補助金セミナー」の開催が近づきました

〈公的補助金の申請と獲得の秘訣〉

平成26年度「中小企業技術革新制度(略称：SBIR)」は間もなく一部公募が開始されます。また、耳寄りな情報があります。今年、平成24年度補正予算において一次・二次公募を併せて23,971件応募があり、うち、10,516件が採択された「ものづくり中小企業・小企業者試作開発等支援事業補助金」を更に上回る規模で補正予算による補助金の公募が開始されようとしています。平成25年度補正予算による「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」支援補助金がそれです。事業イメージとしては、「成長分野型」、「一般型」、「小規模事業者型」、「新陳代謝型」の4種類があり、「成長分野型」では補助額は1500万円(補助率2/3)、「小規模事業者型」の場合、補助額700万円(補助率2/3)など平成24年度と比べて増額または新設されています。併せて、商業やサービスの革新事業にも補助の対象を広げていることが大きな特徴です。

イグレン主催、C&S後援の「補助金セミナー」では、下記の要領で「補助金セミナー」を技術系公的補助金(SBIR)を中心に開催しますが、魅力ある平成25年度補正予算の「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」支援補助金についても詳しく説明いたします。イグレンの会員の中にも前回応募して1000万円の補助金を獲得された方がおられます。今回はあなたの番です。

- 【日 時】 平成26年1月29日(水) 14:00～17:00
 【会 場】 かながわ県民活動サポートセンター 4階 406会議室
 【講 師】 中小企業診断士 松井利夫氏
 【受講料】 イグレン会員500円、 会員外1,000円
 【申込先】 FAX(045-228-7331)又は E-MAIL(toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp)
 詳細は添付「セミナーのご案内」をご覧ください。

【 第146回・日韓ビジネス協議会 】

高橋 導徳

- 日時：2014年1月29日(水) 午後4時00分～5時00分 協議会
 午後5時10分～7時10分 新年会 会費：1,000円
 尚、新年会は近くの居酒屋で行います。(4千円程度)、協議会のみ出席の方はその旨を連絡して下さい。
- 場所：横浜市青少年育成センター(神奈川中小企業センターに近くです)
 関内ホール地下2階 第2研修室 <http://yokohama-youth.jp/ikusei/> 横浜市中区住吉町4-42-1
 TEL：045-664-6251、FAX：045-664-6254
 *新年会： 日本海庄や・横浜馬車道店 横浜市中区常盤町5-63 TEL：045-662-6411
http://search.daisy.co.jp/shop.php?shop_cd=1537 (関内ホールのすぐ近く)
- 内容：特別講演
 (有)アイ・ケー・ブリッジ 代表取締役 幡野 泉氏
 タイトル：「日韓経済交流の原点～POSCO(浦港総合製鉄)訪問記」
 11月初旬、韓国・浦項市へ生徒達と視察研修旅行に出かけ、その時の内容を中心にお話をされる。
 韓国語・中国語の語学学院の運営、2002年8月設立。
 東洋経済日報の「ビジネス韓国語」を連載中、語学関連著書多数。

【 川崎異業種研究会 】

川崎商工会議所中小企業振興部
麻生支所 市川 順

<10月定例会>

10月18日(金)～19日(土)、会員14名の参加を得て、富山県(氷見市・高岡市)を視察した。1日目は、最初に当所友好連携先の氷見商工会議所を表敬訪問し、姫野会頭からご挨拶を頂戴した後、氷見山海珍味共同組合と意見交換会を実施した。次に、氷見市内のセイブファーム、ひみ番屋街を見学、こーざぶろうで夕食、ホテルグランディア氷見に宿泊した。2日目は、まず、財団法人高岡地域地場産業センター、有限会社武蔵川工房、高岡漆器株式会社(漆器くにもと)を視察した。続いて、角久旅館で昼食、高岡大仏、株式会社老子製作所を視察した。その後、富山空港から空路にて羽田空港に向かい、散会となった。今回の視察会は、終始和やかな雰囲気の中、見識を深めるとともに、会員相互の親睦と交流をより一層はかる機会となった。

<10月分科会>

10月2日(水)午後6:30より、中原市民館第1会議室にて、会員8名、見学者2名の参加を得て開催した。税理士法人LRパートナーズ 小川湧三代表社員を招き、「アベノミクス成長戦略と今後の展望」をテーマに、講演はすすめられた。税理士登録満50年の実績から、税の在り方をはじめ、安倍政権が取り組もうとしている成長戦略に関して、今後の影響や備えなどの事例を交ながらわかりやすく説明がされた。「Xデー」はいつ来るかわからないが、日本の財政・国際問題は構造上のため、「東日本大震災」のように必ず起きるものとして十分な備えをするとともに、経済政策を自身の問題と捉え、政府をはじめ、行政の施策なども、しっかりとチェックすべきと学んだ。



定例会様子



分科会様子


<http://www2.manten-project.org/>

瀧澤 清

テクニカルショウヨコハマ2014に出展します！

2月5日～7日からパシフィコ横浜で開催されるテクニカルショウヨコハマ2014に出展いたします。今回は、慶応大学生が設計した宇宙エレベータ(クライマー)の出展を予定しております。また、「はやぶさ2」の製作加工に用いられた会員企業の技術をはじめ約10社の技術についても紹介致しておりますので皆様のご来場をお待ちしております。まんてんはi-30です。どうぞお越しください。

* まんてんプロジェクトの10月の例会につきましては別紙添付書類をご確認くださいませ。

【 財団法人神奈川県経営者福祉振興財団からご案内 】

【伝わる！好印象！『ビジネス文書作成講座』】

報告書や提案書、Eメール… 日常のビジネスの中でいつも頭を悩ませる文書作成。作成に苦戦し、膨大な時間を費やしてはいませんか？本セミナーではグループ演習を取り入れながら、「相手の心を動かす」文章を素早く正確に、そして「論理的」に書くコツを基礎から学び、文書作成能力向上を目指します。

- 【対象者】 分かりやすく、説得力のある文章力を身につけたい方・上司から報告書等の修正指示が多い方・日常業務での文書やEメール作成に自信がない方 …等
- 【日 時】 平成26年2月20日（木）10：00～16：00 <昼食付>
- 【会 場】 福祉振興財団 葉山研修センター [http:// www.navida.ne.jp/keiei/place/index.html](http://www.navida.ne.jp/keiei/place/index.html)
- 【受講料】 一般参加：12,000円、かながわ福利厚生会会員：10,000円、グリーンカードメンバー：8,500円
- 【定先着】 30名様

< 産業人材育成フォーラム > 女性のキャリアアップ支援

- 【日 時】 平成26年1月26日（日）
- 【会 場】 神奈川県本庁舎3階大会議場
- 【定 員】 200名（事前申込制／応募者多数の場合は抽選） 申込締切：平成25年12月20日（金）
- 【参加費】 無料
- 【主 催】 神奈川県、公益財団法人はまぎん産業文化振興財団、かながわ人材育成支援ネットワーク
- 【プログラム】 14:15～ 受付
- 14:45～ 主催者挨拶
- 15:00～ 基調講演「キャリアアップに必要な意識改革」
厚生労働事務次官 村木 厚子氏
- 16:15～ 話題提供 「キャリアアップに求められる意識改革プログラム～時代を変える女性管理職～」
- 【問合せ】 神奈川県立産業技術短期大学校人材教育支援センター [TEL:0466-28-3535](tel:0466-28-3535)
- 【申込方法】 ホームページより電子申請・届出サービスで申込 <http://cswwww.kanagawa-cit.ac.jp/>

【 ソーシャルビジネスフォーラム 】 in 陸前高田

震災から間もなく3年。元通りの生活はなかなか戻らないけれど、震災後、前を向いて新しい事業や活動を始めた人もたくさんいます。復興のため、地域を元気にするための事業を、「ソーシャルビジネス」と呼び、こうしたビジネスが、岩手県内でもたくさん生まれています。今回は、陸前高田に、岩手でこうした取組をしている事業者の皆さんが集まって、自分の事業や商品について発信するためのイベントを開催します。詳しくは別紙を参照下さい。

- 【日 時】 2014年1月24日（13:00～17:30）
- 【場 所】 キャピタルホテル1000 〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町曲松132-4
電話:0192-55-3111
- 【問合せ】 一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク info@socialbusiness-net.com
Tel:03-6820-6300/FAX:03-5775-7671



ふくおか会計事務所
公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹



<http://www.tax-fukuoka.com/about/index.html>

税制関連【連載 その10】 【新興国への進出、課税問題の事例と対策が公開】

市場開拓を目指して、アジアや中東、南米など新興国への投資、進出、取引を行っている事業者もいらっしゃるのではないのでしょうか。新興国は法整備がままならないことから、トラブル事例が後を絶ちません。また、たとえ法律が整っていても現場が法律通り動かないこともあり、頭を悩ませることは少なくないでしょう。このような新興国における問題について、“課税”に焦点を当てた『新興国における課税問題の事例と対策』が経済産業省より公表されました。

新興国では、法律が朝令暮改のごとく変わることもしばしば見受けられます。また、地域や担当者によって法律の執行に差が生じているのも事実としてあります。そして解釈に幅が生じるようなあいまいな規定が絡み、もはや現場では独自の運用がまかり通っているような状況もあります。

このような状況下において、新興国では一体どのような課税問題が生じているのかを経済産業省がまとめ、公表したのが『新興国における課税問題の事例と対策』です。ここでは次のような課税事案の他、対応策の例、進出形態ごとの課税問題、必要な対策、支援窓口の連絡先などが紹介されています。

課税事案：【中国の事例】

中国税務当局から、「機能とリスクが限定的な現地子会社（単純生産拠点等）は、金融危機等によるリスクを負うべきではなく、一定の利益を確保すべき」との通達を根拠として、実態と乖離した高い利益率を適用され、追徴課税を受けた。

「新興国における課税問題の事例と対策（概要版）」より

課税問題は、新興国で新たに課税されること（追徴課税）だけではありません。新興国で追徴課税された分を、日本で減額あるいは経費として認めてもらえない場合があります。つまり、日本と新興国での課税の均衡が図れず二重課税となるケースです。二重課税を回避するために、法律上では“相互協議”という国同士で課税権を決める制度や、事前に両国へ申請して取引価格の承認を受ける“事前確認制度”があります。しかしこれらの制度は利用できない国があることはもちろん、利用するためにはまず事業者が両国へ申請しなければならないなど、書類の準備、コストや時間がかかるため、いずれの制度も中小企業者が利用することは現実的とはいえません。

今回公表されている対策として「情報収集」がありました。情報収集には、いくつかの注意点が考えられます。まず、大局観とともにどの国のどの地域の情報を収集すべきかを見定める必要があります。なぜなら、新興国での課税問題にはトレンドがあり、国あるいは地域によって指摘される課税問題に違いがあるからです。たとえば同じ中国であっても、華東の上海で問題になっていることが必ずしも華南の広州で問題になっているとは限りません。また、情報が少ないエリアでは、古くからの情報のみに頼りにし続けるケースも決して珍しくありません。いつの情報なのかを確認しましょう。

そして、同じ質問に対して複数の専門家全員が違う答えになる場合も見受けられます。特定箇所だけではなく、複数のラインからトレンドを把握できるようにすることが有益な情報収集といえるのではないのでしょうか。

薬の美彩 (くすりのみどり) 小磯 清子 【連載5】

ホームページ <http://k-midori.jp/>ブログ <http://blog.k-midori.jp/>

『サプリメント・健康食品としてのお酢②』

お酢に限りませんが、健康にどのようにいいのか分からず漠然と健康食品やサプリメントを摂らないでほしいのです。お医者さんから処方されている治療薬も酸によって効き目の強弱が変わってしまうこともあり得ます。どういう風に体に働いているのか分からないで漠然と摂取するからお医者さんからも『治療の妨げになるからサプリメントはやめなさい』と言われてしまうのです。

若いときで暴飲暴食・ストレスもなく健康ならば胃腸の粘膜と胃酸の分泌もバランスよく十分に働いてくれますが、40代以降では管理職となりストレスがかかったり、若いときと同じような食習慣をしていたり胃を保護する粘膜の働きが弱くなり相対的に胃酸の働きの方が強くなって、胃が荒れてしまうこともあり得ます。そこへ更に胃酸の分泌を促すような働きをする『お酢』が入ってきたら消化器が不調になるのも当然です。

では、『お酢』を摂取する意味は全くないのでしょうか。

意味はあります。胃酸の分泌が少なく消化能力が弱い、また真夏に冷たい水分ばかりを摂って胃酸が薄まってしまっていて食欲がないときなどに、酢の物や酢飯その他の料理にアクセント的に使うことは胃酸の分泌を促し食欲を増進させて消化能力を高めてくれるという点でとても良いと思います。またお酢には原料由来の各種アミノ酸・有機酸なども含まれていますし、食中毒や生魚の寄生虫予防のために酸の殺菌作用は欠かせない働きです。

かんきつ類の少ない夏は酸味としてのお酢も大活躍しているといえます。

でも、ここでもやっぱり『過ぎたるは及ばざるがごとし』

考え方として、『健康の為に毎日お酢を飲む』ではなく栄養は胃腸から吸収されるので胃腸の働きを良くするために『時々お酢を使った料理を食べる』ほうが良いと思います。

ただ、お酢が苦手な人がわざわざお友達やお店で勧められて、酸味を感じないカプセルのお酢を摂る必要はないです。日常でもお酢はポン酢はもちろん・マヨネーズ・ドレッシング・ソースなど各種調味料に使われていて特に意識しなくても摂取していることが多いからです。また、アミノ酸・有機酸なども原料であるお米や果実から直接摂取できれば問題はありませぬ。そもそもアミノ酸がバランスよく沢山含まれているのはお肉や魚ですから。

不思議なのは子供です。子供は極端な辛さ、酸っぱさ、苦さなどを嫌います。極端な味の刺激物は体にとってはあまりよくないものと考えれば子供の味覚はある意味理にかなっているのかもしれない。

バランス



栄養



	尾上町サロン	西湘サロン 第49回	三浦半島経済人サロン 第59回	神奈川新産学公交流 第60回 サロン横浜
日程	休会中 17:15～19:30	03月10日(月) 18:00～20:00 開場は17:30～	01月31日(金) 18:00～20:30 開場は17:30～	02月19日(水) 18:00～19:00
場所	神奈川県中小企業センター5階 イグレン事務所	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	未定
連絡先	045-228-7331	イグレン(島津、吉池、)	イグレン(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	ざっくばらんに語りながら交流を深めましょう。 参加費:1,000円 今後、事業変更に伴い見直す場合もあります	「ホームオーデオ・スピーカーの制作とブランド構築」 高井工芸代表 高井和夫氏 参加費:1,000円	「脱原発」で本当に良いのですか?～今こそ日本人に必要な“科学する心”とは～アイコンテクノロジー (株)代表取締役会長 金子 和夫 氏 参加費:1,000円	アメリカに長く滞在した 絵画・デザイナーアーティストの話 新藤久美子氏 参加費:1,000円

皆様、あけましておめでとうございます。年末年始、いかがお過ごしでいらっしゃいましたでしょうか。2014年、「馬」年。今年こそは馬車馬のごとくこの1年を駆け抜け、成果を上げよう!!と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか?しかし、この馬、速さの象徴であるとともに「馬耳東風」「馬の耳に念仏」などのことわざにも見られるように、言っても仕方がないとかネガティブな表現としても使われます。ある意味、いいも悪いも私達の捉え方次第なのでしょうね。私達、イグレンも今年で30年。ここまで走り抜けてきて感慨深いものもあります。今年は更なる飛躍の年にしたいと思っておりますので皆様ご協力のほどよろしくお願ひします。

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺ひします。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤宮川 豊【火】①③⑤児玉 英二 ②④八幡 敬和【水】①菊地(芝) ②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】①②指方 順一郎①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com